

セバスチャン・サルガド
アフリカ

生きとし生けるものの未来へ

SEBASTIÃO SALGADO
AFRICA



エチオピア空軍のミグ戦闘機からの機関銃攻撃を避けるために、夜通し歩き、カレマ・キャンプに到着した何千人もの難民たち。ティグレ州西部、エチオピア、1985年 Photographs by Sebastião SALGADO / Amazonas images. Organized by Lélia Wanick Salgado, the Exhibition Curator.

2009年10月24日(土)～12月13日(日)
東京都写真美術館2階展示室

主催＝財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／朝日新聞社
助成＝芸術文化振興基金／財団法人ポーラ美術振興財団
協賛＝凸版印刷株式会社／社団法人 日本写真文化協会
協力＝エール・フランス航空／学校法人 日本写真芸術専門学校／
株式会社プロントコーポレーション
後援＝駐日ブラジル大使館／在日フランス大使館

<展覧会概要>

東京都写真美術館では、フォト・ドキュメンタリーの先駆者であり、今もなお精力的に新作を発表し続けているセバスチャン・サルガド (Sebastião Salgado, 1944～) の「アフリカ」展を開催いたします。

この展覧会は、かつて経済学を専門としていた**セバスチャン・サルガドの視点を通して「見捨てられた大陸」と呼ばれるアフリカの現状に迫るものです**。サルガドが初めてアフリカを取材した1970年代から今日に至るまで、世界各国でアフリカの飢餓、砂漠化を救うべくキャンペーンが生まれ、さまざまな計画が実行されてきました。にもかかわらずその状況は一進一退を繰り返しています。度重なる紛争で、さらに悪化する環境を食い止める手段すら見つからない地域がある一方で、経済的発達が見込める都市では一時期、爆発的に経済が発展し、アフリカが保有する資源にも注目が集まっています。格差が広がるばかりのアフリカの現状をどのように理解し、関わっていくかが国際的に問われているのです。

作家は現在、自ら「最後のプロジェクト」と語るシリーズ「GENESIS (ジェネシス/ 起源)」に取り組んでいます。このプロジェクトは世界各地、前人未踏の地までも取材し、作品発表だけでなく、教育や植林活動等を通して地球の恵みと人類の歴史を見直そうとするものです。本展覧会では、「ジェネシス」シリーズの**最新作も含めた作品群 100 点を展示**します。

<本展の見どころ>

①“セバスチャン・サルガドが見たアフリカ”を堪能できる出品ラインナップ

30年以上にわたる写真家としてのキャリアの多くを、アフリカに費やしているサルガド。特に1971年、経済学者として訪れたルワンダとは深い縁があり、1991年「WORKERS」シリーズの取材では、光り輝く美しい茶畑で生き生きと働く人々に魅了されます。ところが1994年、フツ族とツチ族間での大虐殺(ジェノサイド)が起こり、美しかった茶畑は全て焼き払われ、3ヶ月で100万人もの命が奪われました。その人間の為せる業とは思えぬ衝撃的な光景が、サルガドを何度もアフリカへと駆り立て、「人間とは?」「生きているものすべての起源とは?」という生命の根源に挑ませ続けているのです。この展覧会では、サルガドの代表作である「WORKERS」「EXODUS」の各シリーズ、最後のプロジェクトとして制作中のシリーズ「GENESIS (起源)」からの新作も含め、シリーズの枠を超えて、アフリカを撮った作品を一堂にご紹介します。“サルガドのアフリカ”をどうぞ堪能ください。

②大型のモノクローム作品で美しい臨場感を体感する!

サルガドの作品は、決して悲惨な状況をまざまざと見せつける挑戦的なものではありません。その静謐で重厚なモノクローム作品からは、生きるものすべてに尊敬の念を払い真摯に向き合うサルガドの姿が伝わってきます。今回の展示では、100cm×150cmと60cm×90cmの**大型プリント約100点**を展示。戦闘から逃れた難民をやさしく包み込む木漏れ日や、火山という過酷な地で逞しく成長する生きものたち、夕暮れの放牧に活気をあたえる牛の息づかいなど、サルガドにしか撮ることのできない美しい臨場感をお楽しみください。

③関連イベントでもっとアフリカを知ろう

展覧会に関連して、アフリカを理解するためのさまざまなイベントを開催します。サルガドが自身の体験談やアフリカへの思いを語る講演会や、アフリカ関係者による活動報告など、アフリカの現状をさまざまな形でご紹介します。アフリカといえば飢餓の問題が一番に浮かびますが、現状は様々な問題が絡み合い、解決できないほどに根が深く、そして目に見えなくなっているのです。アフリカの問題でいちばん恐ろしいことは“問題が見えなくなる”そして“無視されること”です。サルガドはそのことを最も危惧し、今日も見えないアフリカの問題を撮り続けているのです。

<関連図録のご案内>

展覧会の開催に関連して、出品作品全点を収録した展覧会図録を発行します。詳細は当館ミュージアム・ショップ ナディッフ・バイテン(03-3280-3279)にお問い合わせください。

<展示構成>

Sebastiao Salgado, *Africa*, Taschen, USA, 2007 より 100 点 (予定)



(写真上より)

- ・ヴィルンガ国立公園ピソケ火山のクレーター湖。手前の植物はジャイアントセネシオ。ルワンダとコンゴ民主共和国の国境地域、2004年
- ・コレム難民キャンプで暮らす授乳中の母親のために、設置された「セーブ・ザ・チルドレン基金」が運営する栄養センター。エチオピア、1984年
- ・マタ茶園で働く子供。ルワンダ、1991年
- ・ザンベゼ川にかかる半壊したドナ・アナ橋を渡って帰国するモザンビークの難民。モザンビーク、ムタララ、1994年

※図版掲載にあたっては、下記クレジットを必ず明記ください。

Photographs by Sebastião Salgado / Amazonas Organized by Lélia Wanick Salgado, the exhibition Curator.



図版キャプション (写真上、左より)

- ・ザイール (現コンゴ共和国) とブルンジから帰国したフツ族難民のためのキベホキャンプ、ルワンダ 1995年
- ・環状や放物線状の模様が描かれるソススフレイ地域の砂丘。ナミビア、2005年
- ・カオコランド地方マリエンフルスのカタパティ川近くで暮らすヒンバ族。 ナミビア、2005年
- ・ディンカ族のアマク放牧キャンプの夕暮れ。牛の群れが戻ってくるこの時間が、一日の中で最も活気がある。南部スーダン、2006年
- ・アンゴラ解放人民運動 (MPLA) を支援するデモ集会で。アンゴラ、ルアンダ、1975年

※図版掲載にあたっては、下記クレジットを必ず明記ください。

Photographs by Sebastião Salgado / Amazonas Organized by Lélia Wanick Salgado, the exhibition Curator.

<関連事業> ※最新情報はホームページをご覧ください

★セバスチャン・サルガド講演会

2009年10月24日(土)午後14時～15時30分

会場：渋谷区立加計塚小学校(東京都写真美術館より徒歩5分)定員：約400名

受付：当日10時より当館1階受付にて整理番号付き入場券を配布します。その際、展覧会チケットをご呈示ください。

開場：午後13時00分～(整理番号順入場・自由席)

★JICA(独立行政法人 国際協力機構)地球案内人 小中隆文氏 <アフリカのお話>

11月7日(土)午後14時～15時 定員：70名 会場：東京都写真美術館アトリエI

受付：当日10時より当館1階受付にて整理番号付き入場券を配布します。その際、展覧会チケットをご呈示ください。

開場：午後13時30分～(整理番号順入場・自由席)

★会期中の第2・第4金曜日午後2時より担当学芸員による展示解説を行います。

展覧会チケットの半券(当日消印)をお持ちの上、展示室入口にお集まりください。

<開催概要>

観覧料 一般800(640)円、学生700(560)円、中高・65歳以上600(480)円
※()は20名以上の団体料金および東京都写真美術館友の会会員割引料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

会場 東京都写真美術館2階展示室

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話番号 03(3280)0099

ホームページ <http://www.syabi.com>

開館時間 10:00～18:00(木・金は20:00 入館は閉館の30分前)

休館日 毎週月曜日(但し11月23日は開館、翌24日休館)

交通機関 地下鉄日比谷線恵比寿駅・JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分

当館には専用の駐車場がございません。お車でご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館 事業企画課

〒153-0062 目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話：03(3280)0034 Fax：03(3280)0033

展覧会担当 学芸員 丹羽晴美(にわ・はるみ) h.niwa@syabi.com

石田留美子(いしだ・るみこ) r.ishida@syabi.com

広報担当 久代明子(くしろ・あきこ) a.kushiro@syabi.com

前原貴子(まえはら・たかこ) t.maehara@syabi.com

このリリースに掲載されている図版を、プレス掲載用にデータにてご用意しています。ご希望の方は上記広報担当までお問い合わせください。

<図版使用にあたっての注意>

- 1) 写真作品はノートリミング、文字がけなし、装飾なしでご掲載ください。
- 2) 下記クレジットを必ずご明記ください。

Photographs by Sebastião Salgado / Amazonas images

Organized by Lélia Wanick Salgado, the exhibition Curator.

- 3) 同一媒体に2点以内でご掲載ください。
- 4) 本展覧会紹介以外での図版の使用はできません。必ず展覧会名、会期、会場、主催者等を明記してください
- 5) 校正段階で広報担当に内容の確認をお取りください。
- 6) 掲載紙を広報担当宛にお送りください。